

2019年度  
「認定事業場の品質管理向上のための人材養成」  
事業報告書

目 次

1. 事業目的	1
2. 事業の内容（計画）	1
3. 事業の実施結果及び成果	2
4. 委員会	8
5. 成果物	8
6. 各講習会、研修会記録写真	10

2020年3月

一般社団法人 日本船舶品質管理協会

## 1. 事業目的

認定事業場（証明事業場を含む。）は、船用機器の製造、改造・修理、整備及び船用品の整備について、国が行う船舶安全法に基づく検査の一部を代行する任務を有している。従って、これら事業場は、経済環境の変動、技術革新の進展等に的確に対応しつつ、常に法定要件を満足する品質管理体制を維持する責務が課せられている。加えて、国際的な ISO9001 による品質マネジメントシステムの導入が国際競争力を確保する上で不可欠な状況となっており、国際化にも対応した品質管理体制を構築、維持することが求められている。

このため、本事業では、法の要件に加え、ISO9001 や最新の品質管理システム（TQM：総合的品質管理）にも精通した人材の養成、確保を図り、技術者の世代交代にも対応できるように、船用機器の製造等工事管理者及び船用品の整備技術者の養成のための講習又は研修を実施する。これにより、認定事業場制度の円滑な運用に資するとともに、船舶の安全航行及び人命の安全に寄与する。

## 2. 事業の内容(計画)

船用機器の製造等認定事業場、膨脹式救命いかだ整備事業場及び GMDSS 整備事業場等の技術者に対する講習会・研修会を次により開催し、技術者の世代交代にも対応できるように人材を養成、確保する。

### (1) 船用機器製造工事管理者品質管理講習会・研修会

東京都において、製造認定事業場の技術者 50 名を対象に、講習 3 日、試験 1 日の講習会を実施する。

伊東市及び大阪市において、船用機器製造工事管理者 80 名を対象に、3 日間の研修会を実施する。

### (2) 船用機器修繕工事管理者品質管理講習会・研修会

東京都において、修繕・整備事業場の管理者 30 名を対象に、講習及び試験で合わせて 3 日間の講習会を実施する。

大阪市において、船用機器修繕工事管理者 30 名を対象に、2 日間の研修会を開催する。

### (3) 船用品整備技術講習会・研修会

#### ① 膨脹式救命いかだ整備技術講習会

東京都において、膨脹式救命いかだ整備技術者 40 名を対象に、6 日間の学科・実技講習及び試験を行う講習会を実施する。

#### ② 降下式乗込装置整備技術講習会

降下式乗込装置整備事業場の技術者 20 名を対象に、さいたま市及び横浜市において 3 日間の実技講習及び試験と東京都において 2 日間の学科講習及び試験を

行う講習会を実施する。

③ 膨脹式救命いかだ整備技術研修会

八戸市、大阪市及び高松市において、膨脹式救命いかだ整備技術者 90 名を対象に、2 日間の学科及び実習の研修会を実施する。

④ 降下式乗込装置整備技術研修会

広島市において、降下式乗込装置整備技術者 30 名を対象に、2 日間の学科及び実習の研修会を実施する。

⑤ GMDSS 救命設備整備技術研修会

東京都及び大阪市において、GMDSS 救命設備整備技術者 50 名を対象に、1 日の学科及び実習の研修会を実施する。

### 3. 事業の実施結果及び成果

(1) 製造関係

① 船用機器製造工事管理者品質管理講習会

講習会には、27 事業場から 64 名が受講し、講習 3 日及び試験 1 日の講習会を実施した。また、受講者全員が試験を受け 62 名が試験に合格した。合格者には「製造工事管理者」の資格が本会から付与され、今後、当該事業場の管理者(候補者)として品質管理の実務に従事することになった。

実施日	場 所	実 施 内 容
2019.10. 8(火) ～ 2019.10.11(金)	LMJ 東京 研修センター (東京都) (受講者 64 名)	講習内容 ①船舶の安全に関する法規と認定事業場の関係 ②認定事業場の組織と品質保証体系 ③認定事業場の品質保証活動 設計管理、製品の信頼性、生産管理、検査管理、文書管理、教育訓練、内部監査等 試験 筆記試験

② 船用機器製造工事管理者品質管理研修会

対象となる船用機器製造工事管理者に対して受講を要請し、31 事業場の 67 名(大阪会場 42 名、伊東会場 25 名)が受講した。研修会は 3 日間で、参加者全員が資格更新について適格であると評価され、製造工事管理者に相応しい品質管理技術の維持、向上を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
2019. 9. 17(火) ～ 2019. 9. 19(木)	ホテルフクラシア 大阪ベイ (大阪市) (受講者 4 2 名)	研修内容 ① 講義 ・わざを学び、わざを磨く ・教育、トレーニング、技術伝承 ・新技術、ヒューマンエラーと品質管理 ・法令改正に関する概要説明 ・船用ディーゼル機関の環境対応に関する概要説明
2019. 11. 13(水) ～ 2019. 11. 15(金)	ルネッサ赤沢 (伊東市) (受講者 2 5 名)	② 意見交換会 ③ グループ討論 テーマ:「ヒューマンエラーについて」、「顧客満足につながる品質管理」、「有益な人材育成と技術技能伝承について」 同上 成果発表 同上 講評及び指導

## (2) 修繕関係

### ① 船用機器修繕工事管理者品質管理講習会

2019年度は東京都内で開催し、受講者数は目標30名に対して、11事業場から12名が参加した。講習会は3日間で講習及び試験を実施し、12名全員が合格した。合格者には「修繕工事管理者」の資格が本会から付与され、当該事業場の実務者を指導・管理する管理者として修繕工事における品質の確保・向上のため尽力することが期待される。

実施日	場 所	実 施 内 容
2019. 10. 29(火) ～ 2019. 10. 31(木)	TKP 品川 カンファレンス センター ANNEX (東京都) (受講者 1 2 名)	講習内容 ①修繕に関する安全法規 ②船用機器の修繕の実態について 中速機関及び付属機器、高速機関、減速逆転機、軸系、プロペラ、燃料油、潤滑油 ③修繕事業場における品質管理 認定事業場制度の概要、修繕事業場の経営のあり方、修繕事業場における品質管理、工事管理、作業管理、作業場管理、設備管理、技術情報管理 ④修繕事業場における環境管理 ⑤筆記試験

② 舶用機器修繕工事管理者品質管理研修会

対象となる舶用機器修繕工事管理者に対し参加を要請して大阪市内の会場で開催し、その結果、合せて22事業場の30名が参加した。研修会は2日間で、レポート審査の結果、参加者全員が資格更新について適格であると評価され、修繕工事管理者に相応しい品質管理技術の維持、向上を図ることができた。

また、非会員会社に所属し、永年、管理者資格を所持する優良な修繕工事管理者を表彰する制度を設けているが、今年度は1名の表彰を行った。結果として修繕工事管理者としてのモチベーションの向上に資することができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
2019. 11. 28(木) ～ 2019. 11. 29(金)	新大阪丸ビル別館 (大阪市) (受講者30名)	研修内容 ①修繕に関する安全法規 ②修繕事業場における品質管理 品質管理のあり方、品質管理の事例研究、 機関電子制御及び海上における状態監視システム の概要 ③「わざ」の伝承と感性—人材育成に関連して— ④技術交流会 テーマ：「修繕品質を高めるために」 ⑤レポート作成・提出

(3) 船用品整備関係

① 膨脹式救命いかだ技術講習会

全ての船用品整備事業場を対象に参加者を募り、24事業場から47名が受講した。

講習会は、当初6日間の予定で計画されていたが、本年度よりバイキング社製膨脹式救命いかだが加わり、メーカー3社となったため、7日間で学科・実技講習及び試験を実施した。その結果、43名が合格した。

また、すでに整備技術者の資格を所有している14名がバイキング社製膨脹式救命いかだの整備資格を希望していたため、上記講習会のうちバイキング社製いかだの整備に関する実技講習及び試験に参加させ、14名全員が合格した。

合格者には、「膨脹式救命いかだ整備技術者」の資格が、当会から付与された。

今後、所属事業場の整備技術者として整備の実務に従事することになった。

実施日	場 所	実 施 内 容
2019. 9. 30(月) ～ 2019. 10. 6(日)	東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 (東京都江東区) (受講者 47名)	【藤倉コンポジット、RFD、バイキング】 学科講習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・船舶安全法及び関係法令</li> <li>・いかだの構造、材料、点検整備関係</li> <li>・自動離脱装置の構造、点検整備関係</li> <li>・漏洩試験の判定・もやい綱の計算等</li> </ul> 実技講習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いかだの点検・整備方法</li> <li>・艀装品の名称、用途及び点検方法等</li> <li>・各種試験の実施方法及び判定基準等</li> </ul> 学科試験 実技試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>・艀装品の使用目的・性能等</li> <li>・いかだの折りたたみ等整備技術</li> <li>・充気装置の点検・組み立て</li> </ul>
2019. 10. 4(金) ～ 2019. 10. 5(土)	東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 (東京都江東区) (受講者 14名)	バイキング社製講習 (有資格者講習) 実技講習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いかだの点検・整備方法</li> <li>・艀装品の名称、用途及び点検方法等</li> <li>・各種試験の実施方法及び判定基準等</li> </ul> 実技試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>・艀装品の使用目的・性能等</li> <li>・いかだの折りたたみ等整備技術</li> <li>・充気装置の点検・組み立て</li> </ul>

## ② 降下式乗込装置整備技術講習会

全ての船用品整備事業場を対象に参加者を募り、14事業場から27名が受講した。講習会は、降下式乗込装置のメーカーにおいて実技講習及び試験が3日間で、東京において学科講習及び試験が2日間で実施した。受講者のうち26名が合格した。合格者には、「降下式乗込装置整備技術者」の資格が、本会から付与された。

今後、所属事業場の整備技術者として整備の実務に従事することになった。

実施日	場 所	実 施 内 容
2019. 9. 3(火) ～ 2019. 9. 5(木)	藤倉コンポジット(株) (さいたま市) 藤倉ジグザグ式 (受講者 4名) 藤倉スパイラル式 (受講者 8名)	実技講義 <ul style="list-style-type: none"> <li>・シューター構造等の講義</li> <li>・収納・格納等一連の実技訓練を実施</li> <li>・MES (船上退船システム) に関するラフト案内索等の点検・整備要領の講義</li> </ul>

2019. 9. 4(水) ～ 2019. 9. 6(金)	RFD ジャパン(株) (横浜市) RFD スパイラル式 (受講者 4 名)	実技教材 ( ' 96SOLAS 対応 ) : ・藤倉コンポジット(株)(FZMES 型及び FSMES 型) ・RFD ジャパン(TES 型)
2019. 9. 10(火) ～ 2019. 9. 12(木)	藤倉コンポジット(株) (さいたま市) 藤倉スパイラル式 (受講者 9 名)	実技試験 ・シューターの収納・格納等一連の実技
2019. 12. 5(木) ～ 2019. 12. 6(金)	(一社) 日本船舶 品質管理協会 (東京都千代田区) (受講者 2 7 名)	学科講習 ・船舶安全法及び関係法令 ・シューターの構造、材料、点検整備関係 ・MES (船上退船システム) の講義 学科試験

### ③ 膨脹式救命いかだ整備技術研修会

対象となる膨脹式救命いかだ整備技術者に対し受講を要請し、3 地区（八戸市、高松市、大阪市）で合計 9 5 名が参加した。

本年度より、バイキング社製膨脹式救命いかだの整備技量を持つ整備技術者を対象に研修を行うため、研修の日程を 1 日延長し、研修会は 3 日間となった。

実技実習の結果は、整備規程に基づいてメーカー講師のチェックが行われ、良好であったとの評価を得た。このことにより、整備技量の維持、向上はもとより、我が国における膨脹式救命いかだ整備体制の維持、強化を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
2019. 7. 9(火) ～ 2019. 7. 11(木)	かがわ国際会議場 展示場 (高松市) (受講者 3 8 名)	講義 点検、整備、積付け、整備上の留意点及びメーカーからの連絡事項等 実技 教 材 : ' 96SOLAS 適合 9 形式及び架台
2019. 9. 18(水) ～ 2019. 9. 20(金)	アジア太平洋トレードセンター (大阪市) (受講者 4 0 名)	技術内容 : 実ガス膨脹、折りたたみ、格納及び積付け、接着修理 質疑応答、メーカーからの連絡事項、品管からの連絡事項等
2019. 11. 6(水) ～ 2019. 11. 8(金)	八戸市水産会館 (八戸市) (受講者 1 7 名)	

④ 降下式乗込装置整備技術研修会

対象となる降下式乗込装置整備技術者に対し受講を要請し、29名が参加した。

メーカー2社の海上退船システム(MES)と位置付けられる3型式の'96SOLAS 適合降下式乗込装置を教材にして、2日間にわたり船上及び整備事業場内における点検、整備に関する指導を行った。'96SOLASに適合する降下式乗込装置は海上退船システム(MES)の中核的な役割を担うことから、整備に関する講師からの実技指導に対し、質疑・応答も活発に行われ、整備技術者の技量の維持・向上はもとより、我が国における降下式乗込装置整備体制の維持、強化を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
2019. 8. 28(水) ～ 2019. 8. 29(木)	広島県立 広島産業会館 (広島市) (受講者29名)	講義 船上で行う点検と注意事項 S.Sで行う点検と注意事項 格納・積付けと注意事項 MESの講義 実技 教材：'96SOLAS 適合品 (パイル式2型式、ジグザグ式1型式) 技術内容：折りたたみ、格納及び積み付け 質疑応答、品管からの連絡事項等

⑤ GMDSS 救命設備整備技術研修会

対象となる GMDSS 救命設備整備技術者に対し受講を要請し、29事業場から42名が参加した。研修受講者に対しては、整備にあたっての留意点、電波の誤発射防止に係る船舶乗組員に対する啓発事項並びに関連法規を周知するとともに、実機による指導を実施して整備技量の維持、向上を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
2019. 11. 14(木)	東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 (東京都江東区) (受講者15名)	講義 GMDSS 及び海上通信関連の最新動向 機器整備上の留意事項 整備記録作成上の注意事項 実技 整備要領及び整備時の注意事項
2019. 11. 28(木)	新大阪丸ビル別館 (大阪市) (受講者27名)	



## 4. 委員会

事業の実施にあたり、学識経験者、その他関係者からなる委員会を設けた。

### (1) 舶用機器製造工事管理者品質管理講習・研修委員会

2019年度事業計画に基づき、事業遂行にあたり委員会を3回開催し、指導書の改訂、試験の方法、講習会・研修会の実施方法、講習会・研修会の結果等について審議、検討し、所期の成果を挙げた。

この間、試験小委員会を3回開催し、試験問題の作成、試験の実施方法、試験結果の評価等を審議、検討した。

### (2) 舶用機器修繕講習委員会

2019年度事業計画に基づき、事業遂行にあたり委員会を3回開催し、講習会及び研修会の実施方法、教材の作成、講習会及び研修会の実施結果等について審議、検討し、所期の成果を挙げた。

この間、試験小委員会を3回開催し、試験問題の作成、レポート課題の作成と実施方法及び試験結果の評価、レポート内容の評価等を審議、検討した。

### (3) 船用品整備技術講習委員会

2019年度事業計画に基づき、事業遂行にあたり委員会を2回開催し、講習会等の実施方法、実施結果等について審議、検討し、所期の成果を挙げた。

この間、いかだ・シューター小委員会3回、GMDSS小委員会3回を開催し、それぞれ講習会、研修会の実施方法、実施結果等を審議、検討した。また、整備試験小委員会4回を開催し、試験問題の作成、試験の実施方法、試験結果の評価等を審議、検討した。

## 5. 成果物

講習会等の実施手段として次の図書を作成した。

- |                                    |      |
|------------------------------------|------|
| (1) 品質管理指導書                        |      |
| 第1分冊 品質管理編                         | 105部 |
| 第2分冊 法令編                           | 105部 |
| (2) 船用機器製造工事管理者研修会テキスト             |      |
| 「わざを学び、わざを磨く」                      | 130部 |
| 「教育、トレーニング、技術伝承」                   | 130部 |
| 「新技術、ヒューマンエラーと品質管理」                | 130部 |
| 「船用ディーゼル機関の環境対応」                   | 130部 |
| (3) 船用機器製造工事管理者 品質管理研修会 グループ討論のまとめ | 130部 |
| (4) 船用機器修繕工事管理者 品質管理研修会テキスト        | 85部  |
| (5) 膨脹式救命いかだ整備技術指導書                | 120部 |
| (6) 降下式乗込装置整備技術指導書                 | 60部  |
| (7) GMDSS 救命設備整備技術指導書(第1部、第2部)     | 各30部 |

## 6. 各講習会、研修会記録写真

### 目 次

- ① 舶用機器製造工事管理者品質管理講習会…………… 11  
(2019年10月8日～11日：東京都)
  
- ② 舶用機器製造工事管理者品質管理研修会…………… 12  
(2019年 9月17日～19日：大阪市)  
(2019年11月13日～15日：伊東市)
  
- ③ 舶用機器修繕工事管理者品質管理講習会…………… 13  
(2019年10月29日～31日：東京都)
  
- ④ 舶用機器修繕工事管理者品質管理研修会…………… 13  
(2019年11月28日～29日：大阪市)
  
- ⑤ 膨脹式救命いかだ整備技術講習会…………… 14  
(2019年 9月30日～10月6日：東京都)
  
- ⑥ 膨脹式救命いかだ整備技術研修会…………… 15  
(2019年 7月9日～11日：高松市)  
(2019年 9月18日～20日：大阪市)  
(2019年 11月6日～8日：八戸市)
  
- ⑦ 降下式乗込装置整備技術講習会…………… 16  
(2019年 9月3日～5日：さいたま市)  
(2019年 9月4日～6日：横浜市)
  
- ⑧ 降下式乗込装置整備技術研修会…………… 17  
(2019年 8月28日～29日：広島市)
  
- ⑨ GMDSS 救命設備整備技術研修会…………… 17  
(2019年11月14日：東京都)  
(2019年11月28日：大阪市)

① 船用機器製造工事管理者品質管理講習会  
(2019年10月8日～11日：東京都 LMJ 東京研修センター)



② 船用機器製造工事管理者品質管理研修会

【大阪会場】（2019年9月17日～19日：大阪市 ホテルフクラシア大阪ベイ）



【伊東会場】（2019年11月13日～15日：伊東市 ルネッサ赤沢）



③ 船用機器修繕工事管理者品質管理講習会

(2019年10月29日～31日：東京都 TKP 品川カンファレンスセンター)



④ 船用機器修繕工事管理者品質管理研修会

(2019年11月28日～29日：大阪市 新大阪丸ビル別館)





⑤ 膨脹式救命いかだ整備技術講習会

(2019年9月30日～10月6日：東京都 東京海洋大学越中島キャンパス)



⑥ 膨脹式救命いかだ整備技術研修会

【四国地区】（2019年7月9日～11日：高松市 かがわ国際会議場）



【大阪地区】（2019年9月18日～20日：大阪市 アジア太平洋トレードセンター）



【東北地区】（2019年11月6日～8日：八戸市 八戸市水産会館）





⑦ 降下式乗込装置整備技術講習会

(2019年9月3日～5日：さいたま市 藤倉コンポジット(株))



(2019年9月4日～6日：横浜市 RFD ジャパン(株))



⑧ 降下式乗込装置整備技術研修会

(2019年8月28日～29日：広島市 広島産業会館)



⑨ GMDSS 救命設備整備技術研修会

【東京会場】(2019年11月14日：東京都 東京海洋大学越中島キャンパス)



【大阪会場】(2019年11月28日：大阪市 新大阪丸ビル別館)

